

新潟スポーツ医学研究会 20年の活動

新潟こばり病院 整形外科

古賀 良生

新潟こばり病院 理学療法課

飯田 晋, 渡辺 博史

新潟県スポーツ医科学センター

田中 正栄

新潟大学整形外科膝関節・スポーツ医学研究班の呼びかけで新潟大学教育学部との協力のもと、新潟スポーツ医学研究会を1984年に発足させた。この20年の活動は、一般市民に対する講演会をのべ72回、新潟市民に対するスポーツ傷害健康相談を月一回行ってきた。また、整形外科的スポーツ傷害に対する調査や予防についての研究を行ってきた。行政の参加で医事相談が定着したが、講演会などでのスポーツ医学の啓発については、協議指導者の参加が少なく目的とした競技現場との距離を狭くすることは達せられなかった。

研究活動は主に学童生徒を対象として、教育委員会の協力を得て、円滑に行うことができた。前十字靭帯損傷の予防を目的とした跳躍動作の年齢に伴う変化、成長に伴う大腿四頭筋の緊張の変化、小児骨折の動向とスポーツ活動、などが理学療法士や当院整形外科と新潟大学工学部とで組織している共同研究グループとの協力で可能となった。

この20年の活動を紹介し、問題点について報告する。